

26. 血液腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん

※別紙5に入力した内容が反映されています。

※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制

○:あり ×:なし

○

	当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数		治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日～12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門としている医師数	化学 療法	移植		放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
					自家末梢血幹細胞移植	血縁者間同種造血幹細胞移植	非血縁者間同種骨髓移植または臍帯血移植	体外照射			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	血液内科	5	5	状況	○	○	○	×	○	○	当科は非血縁者間移植以外のすべての治療が出来る体制を整えています。	ア http://www.otemae.gr.jp/treatment/ketsueki/	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2				状況								ア http://			
3				状況								イ http://			
4				状況								ア http://			
5				状況								イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例:急性リンパ性白血病、急性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、骨髓異形成症候群、多発性骨髓腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫
	急性リンパ性白血病、急性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髓性白血病、骨髓異形成症候群、多発性骨髓腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫